

平成29年6月定例会等 アンケート結果

1 傍聴者数（協議会含む）

開催日	5月 17日	6月 5日	6月 12日	6月 13日	6月 14日	6月 15日	6月 16日	6月 19日	6月 21日	合計
本会議	18人	7人	45人	63人	23人	—	—	—	1人	157人
委員会	—	—	—	—	—	2人	1人	0人	—	3人

2 アンケート集計結果

(1) 本会議

質問項目		人数・割合	回答者数 (人)	割合 (%)
性別	男性		19	65.5
	女性		10	34.5
年齢	～19歳		0	0
	20～39歳		3	9.7
	40～59歳		6	19.3
	60～79歳		19	61.3
	80歳～		3	9.7
傍聴回数	はじめて		10	35.8
	2回～4回目		9	32.1
	5回目以上		9	32.1
傍聴の動機や目的 ※複数回答可	議会や市政に関心がある		15	32.6
	議案や質問内容に関心がある		21	45.7
	議員に誘われた		5	10.9
	所属団体や知人に誘われた		3	6.5
	その他		2	4.3
議員の発言について (質問や意見)	よくわかった		13	52.0
	だいたいわかった		12	48.0
	よくわからなかった		0	0
市長や職員の 発言について (答弁や説明)	よくわかった		7	33.3
	だいたいわかった		11	52.4
	よくわからなかった		3	14.3

- (2) 委員会
なし

3 傍聴者からの意見等

(1) 本会議

<傍聴の動機や目的について（その他）>

- ・村井駅周辺の整備について、市の考えを聞きたかった。
- ・市議会議員の行政姿勢を拝見したい。

<議員の発言について>

- ・〇〇議員について、良くわかった。〇〇議員について、もう少し迫力のある話し方ができないものか。
- ・前段をもっと簡潔にし、質問を的確に。

<市長や職員の発言について>

- ・松くい虫の薬剤散布に害は無いつて、福島への政府の対応の様で答えになっていないと思いました。
- ・松枯れについて、市長の答弁がほしかった。
- ・総務部長、健康福祉部長、こども部長、農林部長の答弁を聞きました。もう少しメリハリの効いた話し方ができないものか。真摯に説明、答弁しようとしている熱意が伝わってこない。
- ・原稿一辺倒でやむを得ないと思いますが、型通りにならないようにしてほしい。

<自由意見>

- ・議場の入口に「1回目のブザーが鳴ります。2回目の・・・」とわざわざ貼り紙があるが、ブザーが鳴る前に1人だけ座っている議員さんがいるのはなぜか。先に入っても問題ないなら自由入場で良いし、問題があるなら決まりを守った方が良い。
- ・松くい虫の防除対応について、「岡田地区は伐採に踏み切った・・・」と言っていたが、消毒するより伐採した方が良いと思っているのか。土砂災害などが起こらないように山を守ってほしい。
- ・議員は自分の地区の町会に松くい虫消毒の回覧等をやるように働きかけては。

- ・最近の医療費拡大は問題になりつつあるが、適正化として予防医学へと発展していく提案は非常に同意ができる。市も前向きな介入がされていく様に、是非活発にすすめてほしい。(〇〇議員質問)
- ・医療費の適正化は財政上重要な問題と思う。総医療費のうち、終末期にかかる費用は大部分を占めるため、生前の遺志を記録しておき、自然な成り行きに任せることの選択を尊重する意義は重要と思う。医師会など専門職の議論に任せるだけでなく、市民レベルでの議論を深めるためにも、〇〇議員の質問により松本市議会でも取り上げていただいたことが、今後の医療費の適正化につながるプロセスとして進んでいくことを期待したい。
- ・〇〇議員の医療費適正化について、リビングウィルについては大変重要なことであり、当市の「健康寿命延伸」あるいは「美しく生きる」に関わる重要な質問、提案を含んでいるものであり、市長自身でもっと丁寧に答えてほしかったと思いました。
- ・はじめて傍聴しました。市議会議員の方、そして行政の方それぞれによく対応していただいているのはわかりますが、それぞれの市民は、自分たちの声をどのように、どう議会や行政へとつなげていけるのか、村井町の住民として村井駅周辺整備問題に関して、難しさを感じています。
- ・〇〇〇議員の質問は分かりやすく良かったです。
- ・質問時間を20分も残すのはもったいない。何かなかったのか……。
- ・言葉にしたことは実行してほしい。
- ・一般市民生活との関連をもって鋭い切り込みをしないと、単なる「ことば遊び」に終始しがち。市民の実状把握を確実にしてほしい。
- ・情報機器の活用が増加しているが、高齢者が対応しづらいので検討を。

(2) 委員会
なし